

U.S. Indicators

発表日: 2025年1月29日(水)

米国 消費者マインドは消費減速を示唆(1月CB消費者信頼)

～労働市場の鈍化を受け現状指数が大幅低下～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

25年1月のCB消費者信頼感指数は、104.1(前月109.5:改定前104.7)と市場予想中央値の105.9を下回った。12月の数値が大幅に上方改定されたことから、予想に反して前月比▲5.4ポイント低下した。現状指数が134.3(前月144.0:改定前140.2)と前月比▲9.7ポイント低下したほか、期待指数が83.9(前月86.5:改定前81.1)と同▲2.6ポイント低下した。

1月のCB消費者信頼感指数では、現在の景気の減速、労働市場の軟化を示している。また、将来に関して、トランプ関税によるインフレ押し上げや景気悪化への懸念、市場金利の上昇等を背景に、消費者が雇用に悲観的な見方を強めた他、景気、収入増への楽観的な見方を弱めるなど、全体として25年初の個人消費の減速を示唆している。

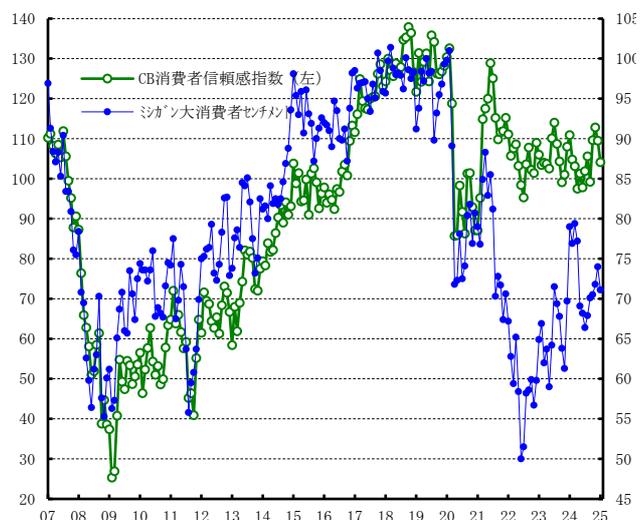
現状指数の構成項目では、「景気」、「雇用」がプラス幅を縮小した。現在の景気に対する判断(「良い」-「悪い」)が+3.0(前月+5.6:改定前+2.4)とプラス幅を縮小、現在の景気に対する楽観的な見方を弱めた。また、現在の雇用機会に対する判断(「充分」-「困難」)は+16.2(前月+22.2:改定前+22.2)とプラス幅を縮小しており、現在の労働市場に対する楽観的な見方が弱まった。

期待指数の構成項目では、「景気」、「収入」がプラス幅を縮小した他、「雇用」がマイナス幅を拡大した。6ヵ月後の景気に対する見方(「良くなる」-「悪くなる」)は、+2.2(前月+5.4:改定前+3.4)とプラス幅を縮小し、景気の先行きに対する楽観的な見方を弱めた。また、6ヵ月後の収入に対する見方(「増加する」-「減少する」)は、+6.4(前月+6.9:改定前+2.9)とプラス幅を縮小し、収入に対する楽観的な見方を弱めた。さらに、6ヵ月後の雇用に対する見方(「多くなる」-「少なくなる」)は▲0.9(前月▲0.5:改定前▲2.2)とマイナス幅を拡大、雇用の先行きに対する悲観的な見方を強めた。

消費者信頼感 (Consumer Confidence)

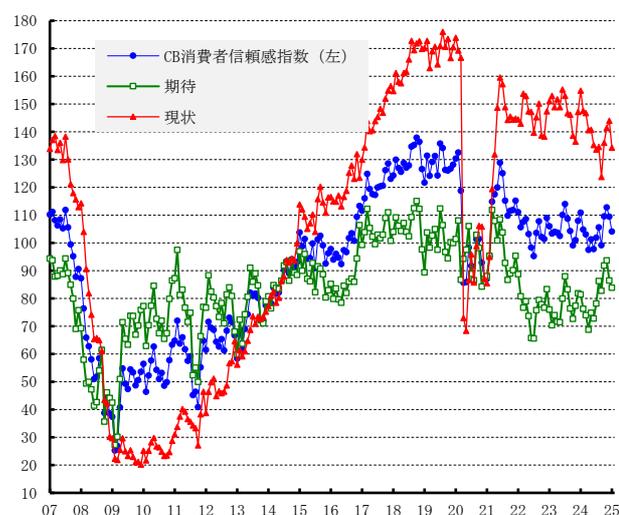
	消費者信頼感指数										ミシガン大学消費マインド*	
	期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状		
			充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅				
24/01	110.9	81.5	154.9	42.7	11.0	16.7	16.0	10.7	4.8	79.0	77.1	81.9
24/02	104.8	76.3	147.6	42.8	12.7	14.0	16.9	10.8	4.6	76.9	75.2	79.4
24/03	103.1	74.0	146.8	41.7	12.2	14.3	18.5	11.4	5.2	79.4	77.4	82.5
24/04	97.5	68.8	140.6	38.4	15.5	13.4	19.1	11.5	5.2	77.2	76.0	79.0
24/05	101.3	74.9	140.8	37.0	14.3	13.7	16.9	12.2	5.2	69.1	68.8	69.6
24/06	97.8	72.8	135.3	35.5	15.7	13.2	17.6	11.1	5.1	68.2	69.6	65.9
24/07	101.9	78.2	133.6	34.1	16.0	14.8	16.7	10.5	4.2	66.4	68.8	62.7
24/08	105.6	86.3	134.6	32.7	16.8	19.1	14.5	11.5	4.8	67.9	72.1	61.3
24/09	99.2	82.8	123.8	31.3	18.6	19.4	17.1	11.9	5.8	70.1	74.4	63.3
24/10	109.6	91.9	136.1	34.1	17.6	21.1	13.0	13.1	6.1	70.5	74.1	64.9
24/11	112.8	93.7	141.4	33.6	15.2	24.7	15.9	13.1	6.2	71.8	76.9	63.9
24/12	109.5	86.5	144.0	37.1	14.9	22.7	17.3	13.1	5.7	74.0	73.3	75.1
25/01	104.1	83.9	134.3	33.0	16.8	20.9	18.7	11.8	5.2	71.1	69.3	74.0

(図表)消費者マインドの動向(月次)



(出所) C B、ミガン大学

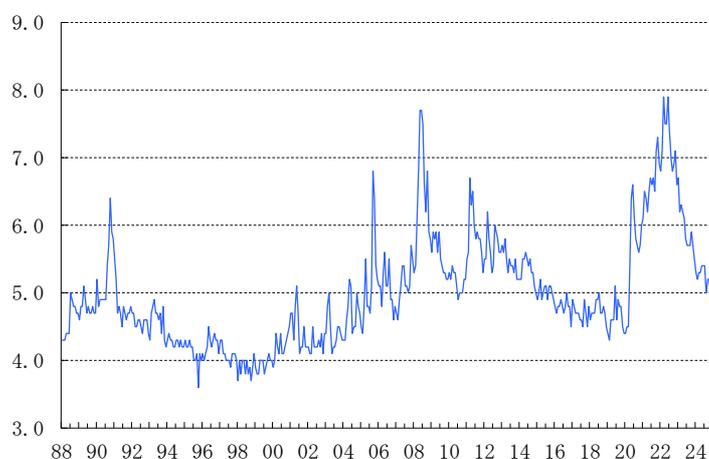
(図表)消費者マインドの動向(月次)



(出所) C B

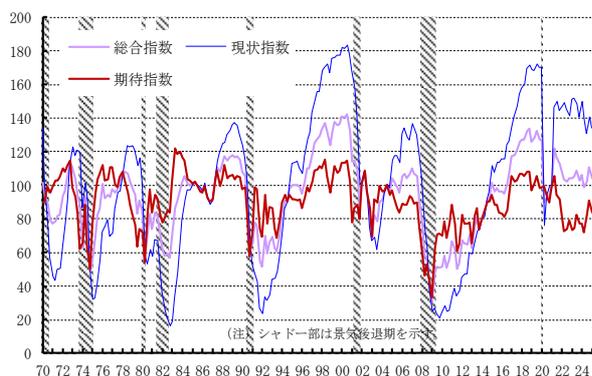
インフレに関しては、1年先のインフレ見通しが5.3%（前月5.1%）と8%弱のピークから低下傾向を辿っているものの、依然高い上昇が予想されている。

(%) 12ヵ月後のインフレ見通し

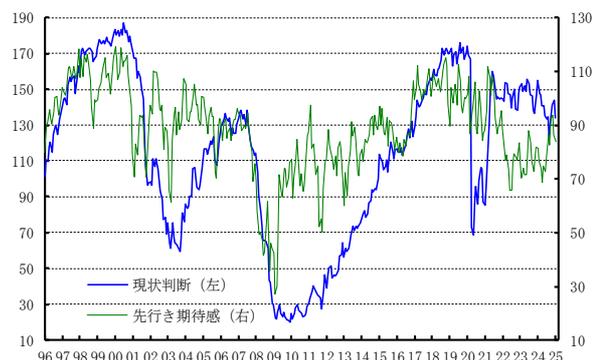


25年前半のC B消費者信頼感調査では、市場金利の再低下や、景気の先行きに対する楽観的な見方等が、期待指数の上昇に繋がる可能性が高い。一方、高い政策金利や信用状況の引き締め、コスト増加等による景気の減速、労働需給の一段の軟化を背景に、現状指数が低下すると見込まれる。この結果、C B消費者信頼感指数は100程度に低下し、個人消費の緩やかな拡大の一因になると予想される。

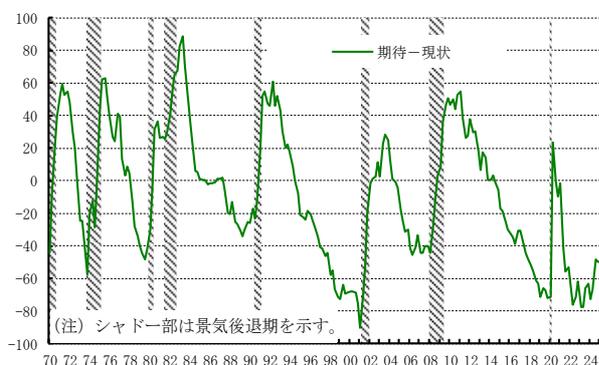
消費者信頼感指数の推移(四半期)



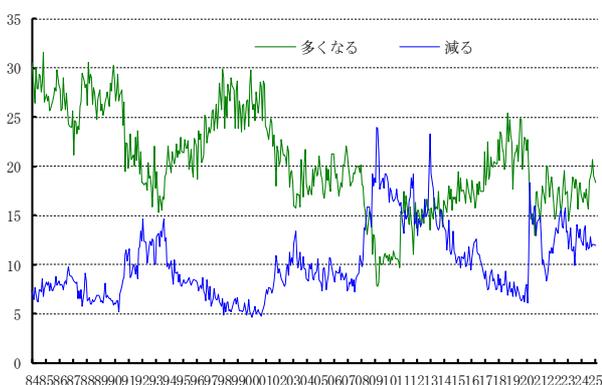
消費者信頼感指数の推移



(期待指数-現状指数)の推移



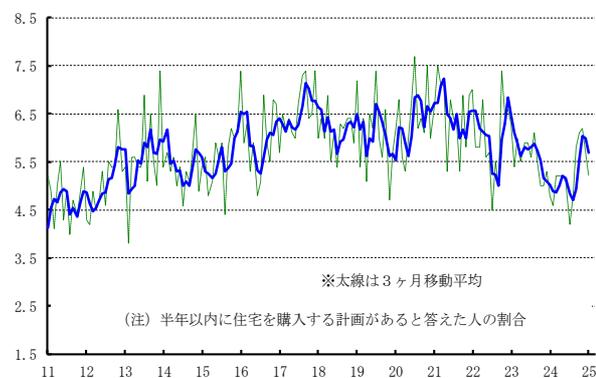
(%) 6ヶ月後の収入見通し



(%) 新車購入計画比率の推移



(%) 住宅購入計画比率の推移



(出所) C B

(出所) C B

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。